

【補助事業概要の広報資料】

整理番号 27-88

補助事業名 平成27年度 離島における地熱資源の活用可能性調査 補助事業

補助事業者名 一般財団法人エンジニアリング協会

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

全国の離島の中から、高コストなディーゼル発電を行っている離島を抽出し、それらの離島の地熱関連情報を調査収集すると共に、地熱情報の精度・信頼性等も考慮して、地熱発電導入が期待できる離島を明確化することを目的とした。

(2) 実施内容 (URL)

(2-1) 代表的離島6島の現地調査の実施概要

代表的離島6島（奥尻島、佐渡島、三宅島、新島、壱岐、薩摩硫黄島）については、内燃力発電所（ディーゼル発電所）の視察、基礎自治体のヒアリングおよび地熱関連情報等の取得を目的に、現地調査・ヒアリング等を行なった。ここでは、薩摩硫黄島を例に、現地調査内容を示す。

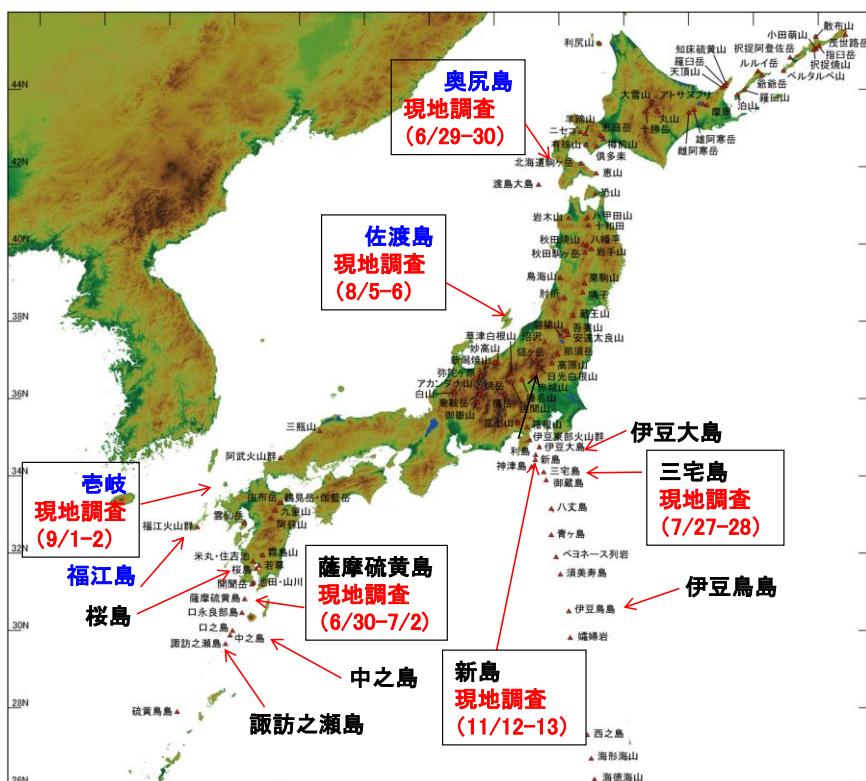


図-1 離島 6 島の現地調査の平成27年に実施状況



写真-1 三島村役場（鹿児島市名山町 12 番 18 号）：ヒアリング実施



写真-2 薩摩硫黄島
(フェリーから撮影)



写真-3 硫黄島内燃力発電所
(奥の建物が発電所。前面に 20kℓ重油タンク、燃料運搬車両)



写真-4 硫黄岳の噴気状況



写真-5 東温泉

(2-3) 調査研究全体の実施内容

本調査研究の成果として、(2-1), (2-2) の実施事項と委託調査結果を加えて、①離島の電力施設状況の調査（内燃力発電所のある離島の抽出）、②離島の地熱情報の調査、③離島の地熱発電導入可能性の概略検討、④次年度の調査計画案の検討、の4項目について、調査研究内容をとりまとめた。①～④の実施内容・成果概要を図-2に示し、奥尻島を例に、①, ②, ④の実施内容を写真-6, 写真-7, 図-3に示す。

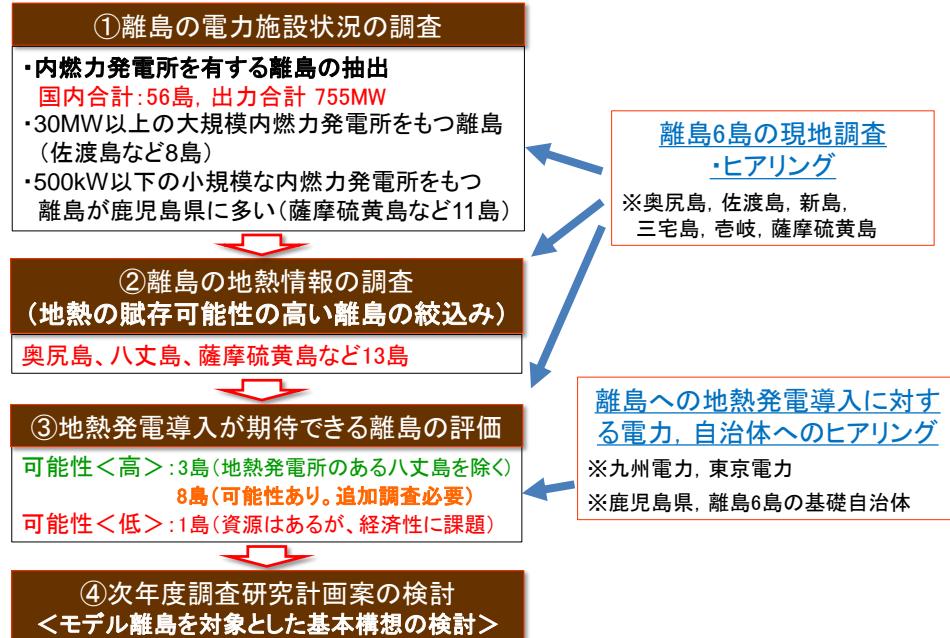


図-2 調査計画全体の実施内容概要と成果概要



写真-6 ①離島の電力施設状況の調査(北海道電力奥尻発電所(4,000kW ディーゼル発電))



写真-7 ②離島の地熱情報の調査
(平成19年度促進調査奥尻西地域 N18-OW-1, N19-OW-3 掘削地点)

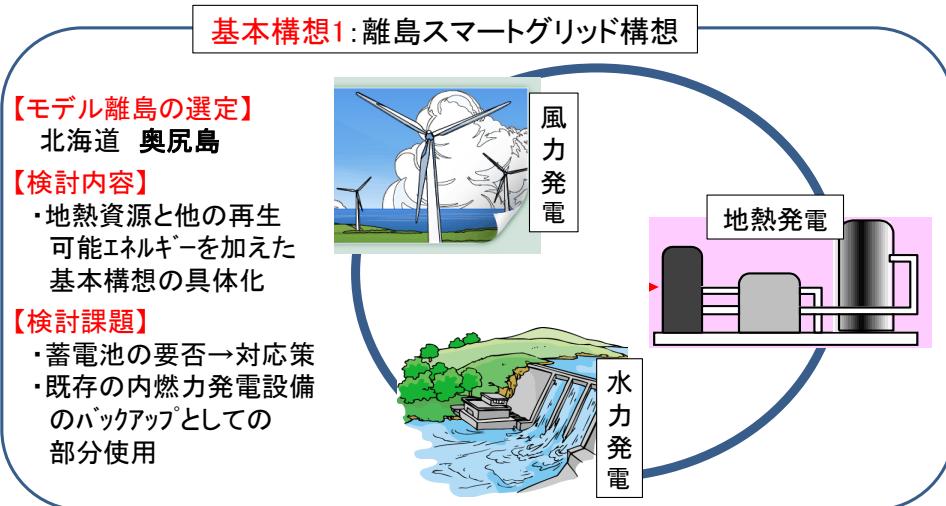


図-3 ④次年度調査計画案の検討<モデル離島を対象とした基本構想の検討>
(基本構想1 : モデル離島は奥尻島)

2 予想される事業実施効果

本事業は2年計画であるため、本年度の検討結果は途中段階ではあるが、当協会の成果報告会、土木学会・地熱学会等の外部発表も行い、外部への情報発信を行う。また、平成27年度の事業実施においては、地熱開発促進に関する経済産業省、環境省、JOGMECに委員会のオブザーバーとして参加していただいている、事業の普及・展開には関係官庁・機関の支援等も期待する。

離島には、国境離島と呼ばれる排他的経済水域の基点となっている離島もあり、離島の存在は、国土保全、領海保全および海洋資源の確保など、今後ますます重要になってくる。離島に地熱発電を導入できれば、有人離島を活性化と自立電源の確保につながり、国土保全や領海保全等の観点からも非常に有意義なことと考えられる。

3 補助事業に係る成果物

(1) 補助事業により作成したもの

平成27年度 離島における地熱資源の活用可能性調査補助事業 報告書

平成27年度 離島における地熱資源の活用可能性調査補助事業 報告書 CD-ROM

<p>ENAA GEC2015-P2</p> <p>(27-88) 平成27年度 離島における地熱資源の活用可能性調査補助事業 報告書</p> <p>平成28年3月</p> <p>一般財団法人エンジニアリング協会 地下開発利用研究センター</p> <p> RINGRING! プロジェクト 募集の掲載場所 </p>	<p>平成27年度 離島における地熱資源の活用可能性調査 報告書目次</p> <p>第1章 調査研究の概要 1 1.1 背景と調査目的 1 1.2 本年度の調査研究内容 1 1.3 調査研究の実施経過 3 1.3.1 調査研究体制の組織化 3 1.3.2 調査研究実施状況 3 1.4 調査成果概要 5 1.4.1 有人離島の電力施設状況の調査結果 5 1.4.2 内燃力発電所を有する有人離島の地熱ボテンシャル関連情報の調査結果 6 1.4.3 内燃力発電所を有する有人離島の地熱ボテンシャル関連情報の調査結果 6 1.4.4 次年度調査計画案の検討結果 6</p> <p>第2章 内燃力発電所を有する有人離島の電力施設状況等の調査 8 2.1 調査内容・調査方法 8 2.1.1 調査内容 8 2.1.2 調査方法 8 2.2 福島の内燃力発電所の施設状況 8 2章 参考文献 17</p> <p>第3章 内燃力発電所を有する有人離島の地熱ボテンシャル関連情報の調査 18 3.1 調査内容・調査方法 18 3.1.1 調査内容 18 3.1.2 調査方法 18 3.2 北海道電力管轄の有人離島の地熱ボテンシャル関連情報 18 3.2.1 札幌島（れいほんとう） 18 3.2.2 利尻島（りしきとう） 19 3.2.3 桧枝島（やぎしりとう） 19 3.2.4 奥尻島（おくしきとう） 20</p> <p>3.3 東京電力管轄の有人離島の地熱ボテンシャル関連情報 22 3.3.1 新島・武蔵島（じゆうじま・しきねじま） 22 3.3.2 神津島（こうづじま） 27 3.3.3 三宅島（みやけじま） 30 3.3.4 八丈島（はちじょうじま） 33 3.3.5 利島（としま） 35 3.3.6 命ノ島（めいのじま） 35 3.3.7 洞爺島（とうやじま） 35 3.3.8 伊豆大島（いづおおじま） 36 3.3.9 父島・母島（ちちじま・ははじま） 40 3.4 東北電力・北陸電力管轄の有人離島の地熱ボテンシャル関連情報 40 3.4.1 佐渡島（さどじま） 41 3.4.2 黒島（あくじま） 44 3.4.3 間島（とびしま） 44 3.4.4 紫島（しじま） 44 3.5 中国電力管轄の有人離島の地熱ボテンシャル関連情報 45 3.5.1 開候諸島（おきよしとう） 45 3.5.2 見島（みじま） 45 3.6 九州電力管轄の有人離島の地熱ボテンシャル関連情報 46 3.6.1 小豆島（あずみじま） 46 3.6.2 対馬（つしま） 46 3.6.3 壱岐（いき） 46 3.6.4 五島（ごとう） 47 3.6.5 須島（こしきじま） 50 3.6.6 種子島（たねがじま） 50 3.6.7 竹島（たけじま） 50 3.6.8 黒島（くろしま） 51 3.6.9 帯御賀島（きつみいのうじま） 51 3.6.10 口永良部島（くのえらぶじま） 58 3.6.11 中ノ島（なかのじま） 61 3.6.12 口之島（くちのじま） 64</p> <p>3.6.13 恵石島（あせきじま） 67 3.6.14 小豆島（こどみじま） 67 3.6.15 宝島（たからじま） 67 3.6.16 平島（ひらじま） 68 3.6.17 断防之瀬島（だんぼうのせじま） 68 3.6.18 鮎美大島（あみみおおじま） 69 3.6.19 喜界島（きかいじま） 69 3.6.20 桜島（さくらじま） 69 3.6.21 沖永良部島（おきのえらぶじま） 70 3.6.22 与島（よしろんじま） 70 3.7 沖縄電力管轄の有人離島の地熱ボテンシャル関連情報 71 3.7.1 久高島（くみじま） 71 3.7.2 美波島（みわじま） 71 3.7.3 波照間島（はてるまじま） 71 3.7.4 東国島（あぐにじま） 72 3.7.5 南大東島（みなみだいとうじま） 72 3.7.6 北大東島（きただいとうじま） 72 3.7.7 宮古島（みやこじま） 73 3.7.8 多良間島（たらまじま） 73 3.7.9 石垣島（いしがきじま） 73 3.7.10 後間島（はるまじま） 74 3.7.11 与那國島（よなぐにじま） 74 3.8 有人離島の地熱ボテンシャル関連情報のまとめ 75 3章 参考文献 79</p> <p>第4章 内燃力発電所を有する有人離島の地熱ボテンシャル関連情報のまとめ 81 4.1 内燃力発電所に対する地熱ボテンシャルの判断指標の要點検討 81 4.1.1 検討方針 81 4.1.2 内燃力発電所の発電装置について 81 4.2 電力会社、自治体の地熱ボテンシャル導入に対する意見 85 4.2.1 電力会社、経済産業省へのヒアリング 85</p>
---	--

(2) (1) 以外で当事業において作成したもの

該当なし。

4 事業内容についての問い合わせ先

団体名：一般財団法人エンジニアリング協会
(イッパンザイダンホウジンエンジニアリングキョウカイ)
住所：〒105-0001
東京都港区虎ノ門三丁目18番19号（虎ノ門マリンビル10階）
代表者：理事長 佐藤 雅之（サトウ マサユキ）
担当部署：総務部
担当者名：部長 亀井 秀次（カメイ ヒデツグ）
電話番号：03-5405-7201
FAX：03-5405-8201
E-mail：kamei@enaa.or.jp
URL：<http://www.enaa.or.jp>